

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

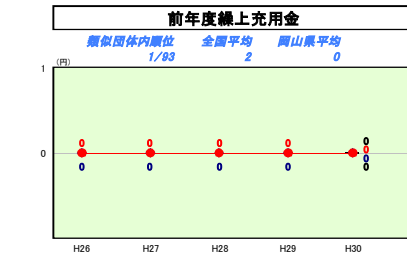
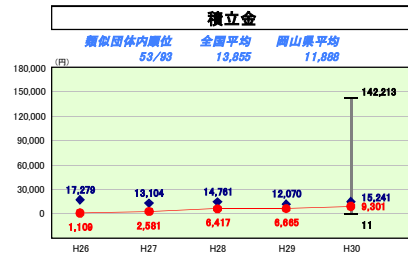
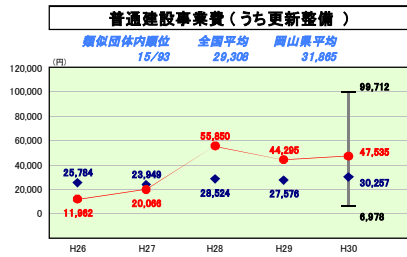
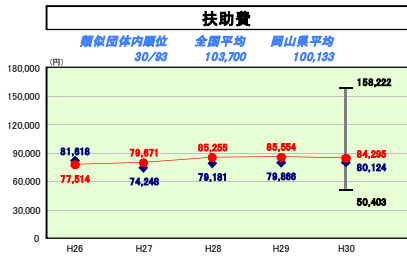
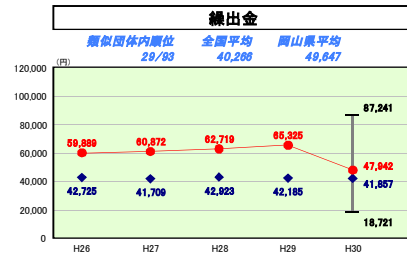
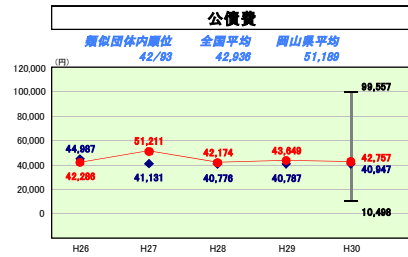
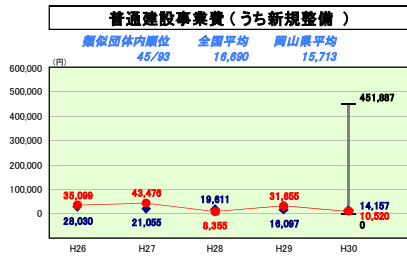
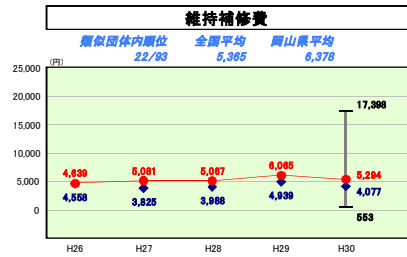
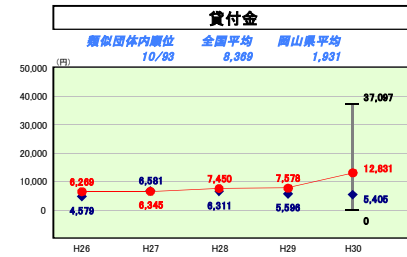
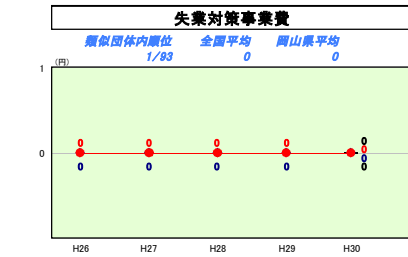
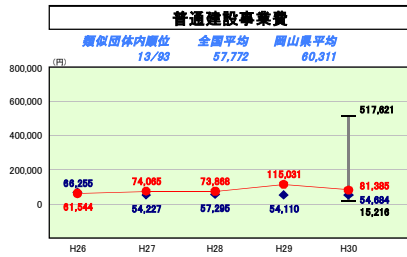
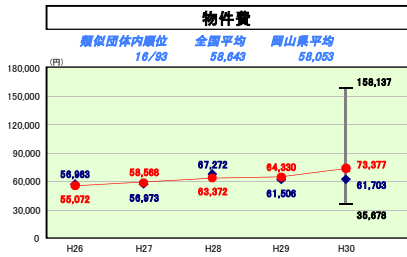
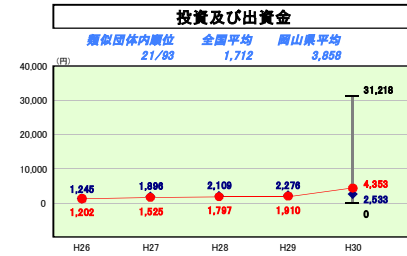
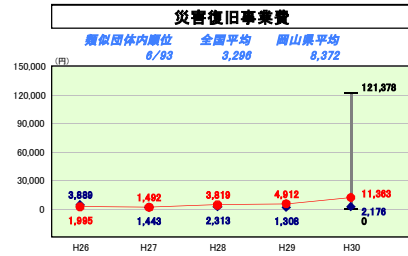
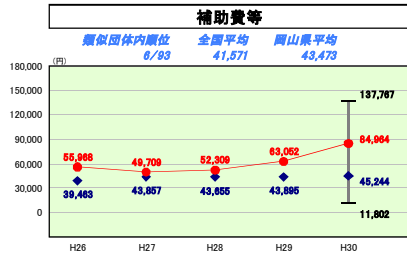
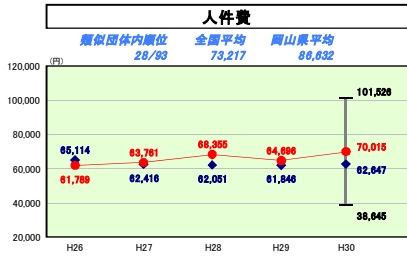
平成30年度

岡山県笠岡市

人口	48,712 人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	48,244 人(H31.1.1現在)	通算実質赤字比率	- %
面積	136.24 km ²	実質公債費比率	6.7 %
歳入総額	26,468,309 千円	将来負担比率	75.5 %
歳出総額	26,713,959 千円	市町村類型	H26 II-1 H27 II-2 H28 II-2
実質収支	832,799 千円	(年度毎)	H29 II-2 H30 II-2
標準財政規模	13,076,888 千円		
地方債現在高	25,143,653 千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析
 人件費は退職手当が前年度比75.4%増となったため、1人あたりでは5,319円増となっている。物件費は前年度比12.2%増となっており、1人あたりでは9,047円の増となっている。維持補修費は寺間排水機場や道路橋梁維持補修費の影響で前年度比14.2%減となり、1人あたりでは771円減となっている。扶助費は生活保護費や児童扶養手当の減により3.1%減となっており、1人あたりでは1,259円減となっている。補助費は下水道事業会計の法道移行等により前年度比32.5%増となり、1人あたりでは21,912円の増となっている。普通建設事業費は畜産・酪農収益強化設備等対策事業補助金や学校給食センター建設事業などの大規模事業の減により前年度比30.4%の減となり、1人あたりでも33,646円と大幅な減となっている。公債費は元金の減により前年度比3.7%減、1人あたり892円の減となっている。積立金はふるさとこさかおん基金や公共施設整備費引当基金の積立の増により前年度比37.2%増、1人あたりでは2,636円の増となっているが、類似団体平均と比較するとかなり低い水準となっている。繰入金は下水道事業会計の法道移行の影響で前年度比27.8%減、1人あたりでは17,383円減となっている。